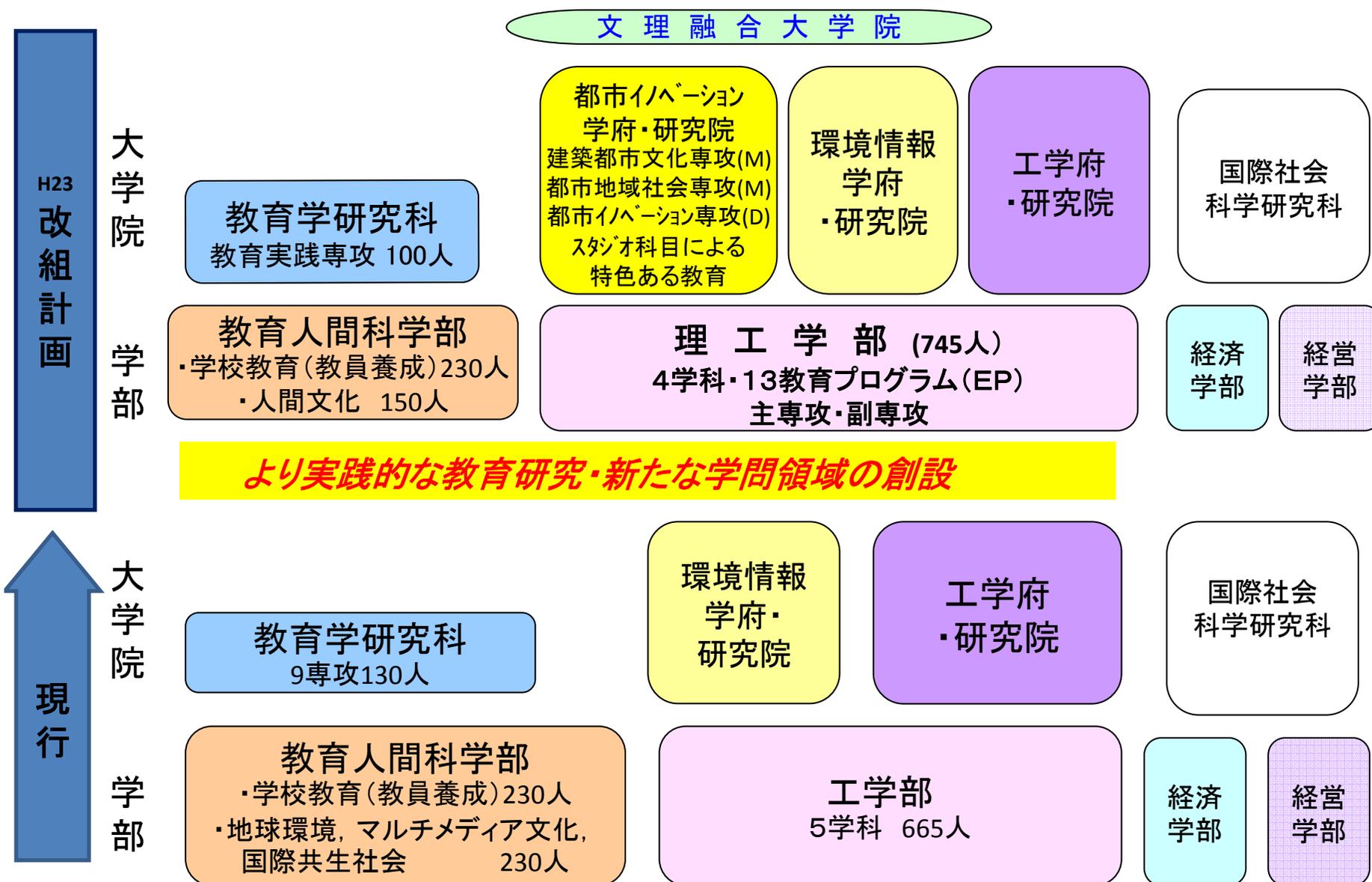


## 別添資料（目次）

- 別添資料 1 横浜国立大学学部・大学院組織再編成概要
- 別添資料 2 理工学部設置構想（概要）
- 別添資料 3 YNUイニシアティブ（冊子）
- 別添資料 4 理工学部の学科と教育プログラム
- 別添資料 5 理工学部の教育組織と授与する学位一覧
- 別添資料 6 各学科と教育プログラムの概要
- 別添資料 7 理工学部教員組織編制の概念図
- 別添資料 8 学位取得（理学／工学）フローチャート
- 別添資料 9 理工学部履修モデル
- 別添資料 10 工学部の受験志願者数及び受験倍率の推移
- 別添資料 11 理工学部に関するアンケート調査結果
- 別添資料 12 平成 21 年度理工学部関連組織進路調査
- 別添資料 13 副専攻プログラム

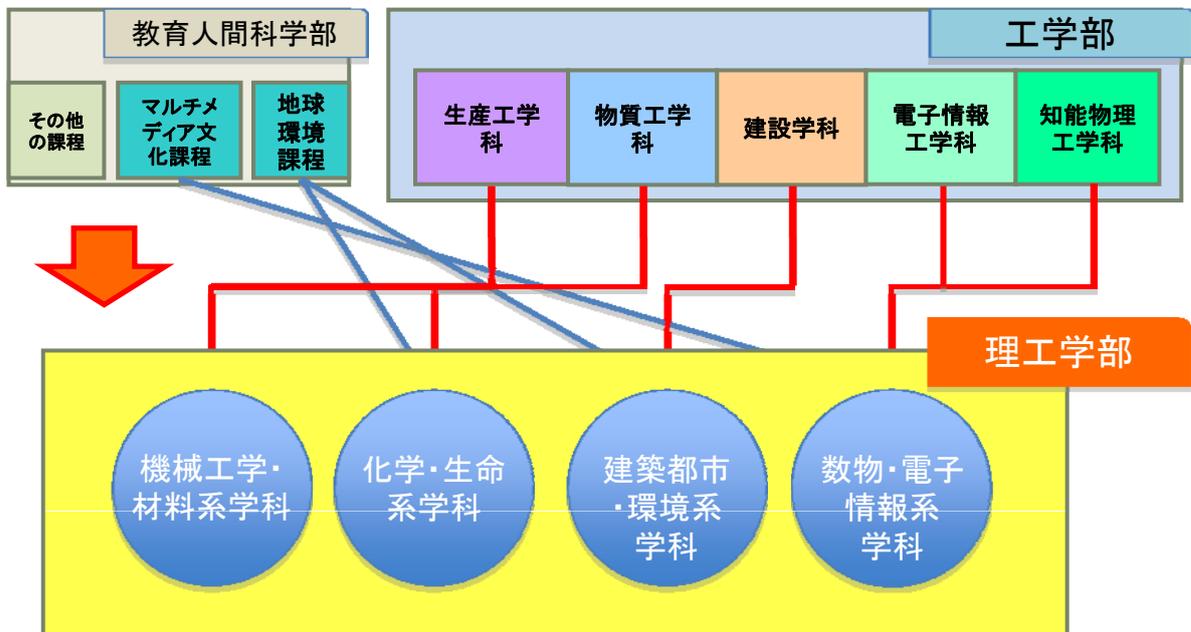
# 平成23年度横浜国立大学学部・大学院組織再編成概要



設置の目的

我が国における製造業の国際的卓越性は、従来から生産現場における生産性の質と量の向上に大きく依拠してきた。これら従来型の産業構造に対し、特にイノベーションによる産業力の更なる強化・発展が強く求められている。近年、産業振興が著しい情報通信技術、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、グリーンテクノロジーなどの先端技術では、これまで産業発展を支えてきた工学に加えて、理学に立脚し、理学を包含した新たな理工学の技術的取り組みが必須となりつつある。これを担う人材養成は、我が国の産業発展に寄与するイノベーションを創出し、次世代の技術開発による産業活性化への貢献が期待される。今回、本学で計画している工学部及び教育人間科学部を組織改編し、工学研究院、環境情報研究院及び都市イノベーション研究院（設置申請中）に所属する理工系教員を再組織化して、社会的かつ地域的な期待と要請に応える新しい「理工学部」を設置する。

組織改編の概要



新しい理工学部では、学問の多様性と学生の興味の広がりを考慮して、これまでの学部・学科（講座）という縦割りの弊害を乗り越えるため、関連する人材養成分野を大括りに定めた4つの学科を置き、機械工学・材料系、化学・生命系、建築都市・環境系、数物・電子情報系の学科で構成する。

本学部では、学部基盤科目、学科共通科目を設定した初年次教育とともに、各学科に複数の教育プログラム（EP）科目を置き、体系的で専門性の高い教育を行う。

横浜国立大学に設置する理由

横浜国立大学が位置する横浜・神奈川では、最先端の公的研究所や民間企業等が数多く存在し、各産業分野においてイノベーションの創出を担う人材養成への強い期待がある。平成9年の工学部組織改編を契機として、化学、物理、生物等の理学分野の学部教育を重視し、さらに教育人間科学部では地球環境課程、マルチメディア文化課程において理数系教育の充実を図ってきた。

この「理工学部」設置計画は、本学の伝統を継承しつつ、理学と工学の融合によりイノベーションの創成を担う実践的人材を養成して我が国の産業発展に寄与し、次世代の技術開発による産業活性化への貢献が期待される。さらには、日本の科学技術及び産業集積地域である横浜・神奈川における唯一の国立大学として、学術の基礎としての理学から、産業を支える工学までの一貫した学士課程教育プログラムを開設することは、社会的かつ地域的な期待と要請のほか、数多くの受験生や保護者からのニーズにも応え得るものである。